

教材・教具名： 電動カー（デコトラ野郎）

製作者： 大園・森田

主な使用場面・領域・教科等： 自立活動

### <図・写真>



### <材料・製作方法等>

モーター付スクーターボードを土台に以前より本校にある手作り椅子を加工しシート部分を作成。車に興味のある児童であるため、ライトやハンドルは、SUZUKIワゴン R のものを使用（友人より提供）し、より車らしく見えるようにした。下地のベニヤ板のささくれや突起等に危険性があるためアルミ紙や滑り止めシートで全体を覆って仕上げた。部材等は、100円ショップで購入したものを多用している。今後さらにデコトラらしくデコレーションしていきたい。

### <ねらい>

- 上肢や手指の動きを引き出し、高める。
- ぶつかりそうになったら止まる活動で、危険予測ができるようになる。
- 児童の好きな活動として、授業の最後に取り入れ、授業に意欲的に取り組めるようにする。

### <指導方法・留意点等>

- K・Y 児の自立活動の時間の最後の活動として行い、授業に見通しをもてるようにする。
- 児童がスイッチのプラグを差し込んだり、ドアの開け閉めをしたりして、乗る前の準備を自分で行い、その手順を覚えられるようにする。

### <指導経過・成果・課題・展望等>

電動カーが視界に入ると、手差しや「ブッ」と言うことで、乗りたいと教師に伝え、意欲的に電動カーの活動に取り組んでいる。また、自立活動の時間の最後の活動として取り入れることで、それまでの学習も電動カーに乗ることを楽しみに、頑張ることができている。スイッチのプラグの差し込みやドアの開け閉めは、手を合わせて教師に支援を要求してくることもあったが、次第に支援を要求することも減り、自分でできるようになってきている。また、電動カーに乗る前に何をすれば良いかが分かってくるので、自らプラグを差し込んだり、ドアを開け閉めしたりすることも増えてきた。

レバースイッチを押すと進み、引くと止まることを理解し、スイッチの操作をすることができる。しかし、ふざけたり、壁に気づかずにぶつかってしまうことがよくあるため、今後、指導を工夫していく必要がある。

